

令和6年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立矢口中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・話し合い活動を増やし、自己の目標に対して客観的に制作することができた。
- ・欠席者に対して放課後補習を実施し全員が平等な作業時間をもつことができた。
- ・発表時間を設定することにより、制作意欲が高くなってきた。

(2) 課題

- ・発想がわからない生徒が作品を完成させることが困難である。
- ・意図的計画的に作業計画をたてることが困難な生徒が一部いる。

2 授業改善のポイント (観点別)

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
事前の活動として、技法を練習及び試作させる。 ワークシートに制作意図を明確に書かせる。生徒を少人数ずつ集めるなどして技能を習得できるよう模範の技術を見せる。	制作前に丁寧に課題を説明し、参考図案を配布する。 制作に入る前にICTを利用して生徒作品等参考作品を複数見せる。 話し合いで他者の価値観にふれ、自己の目標を明確にする。	制作手順を時間配分のプリントを配布する。 制作後にレポートをつくり、自らの学習を調整できるよう促す。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
事前の活動として、既習内容を復習し、技法を練習及び試作させる。 ワークシートに制作意図を明確に書かせる。生徒を少人数ずつ集めるなどして技能を習得できるよう模範の技術を見せる。	制作前に丁寧に課題を説明し、参考図案を配布する。 制作に入る前にICTを利用して生徒作品等参考作品を複数見せる。 話し合いで他者の価値観にふれ、自己の目標を明確にする。 発表時に工夫できるように助言・指導する。	制作手順を時間配分のプリントを配布する。 制作後にレポートをつくり、自らの学習を調整できるよう促す。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
事前の活動として、既習内容を復習し、技法を練習及び試作させ工夫できるように指導する。 ワークシートに制作意図を明確に書かせる。生徒を少人数ずつ集めるなどして技能を習得できるよう模範の技術を見せる。	制作前に丁寧に課題を説明し、参考図案を配布する。 制作に入る前にICTを利用して生徒作品等参考作品を複数見せる。 話し合いで他者の価値観にふれ、自己の目標を明確にする。 発表時にわかりやすい内容になるよう助言・指導する。	制作手順を時間配分のプリントを配布する。 制作後にレポートをつくり、自らの学習を調整できるよう促す。